

TDLS アンモニア分析計

S4 NEBULA

加熱型TDLS アンモニア分析計

波長可変半導体レーザー分光法（TDLS）によるアンモニア分析計。プロセス・環境モニタリング、自動車、研究用途における高速・高精度なNH₃測定を実現します。非接触測定のため干渉が少なく、優れたガス選択性を発揮します。



測定対象ガス：NH₃

主な用途：エンジン・車両試験、環境・排ガス監視、石油化学・プロセス、水素・エネルギー、研究開発・大学

■ 特長

- ・検出下限 0.2ppm、広いダイナミックレンジ
- ・非接触測定・高分解能
- ・優れたガス選択性（共存ガスの影響が小さい）
- ・アンモニアスリップ監視、AdBlue／尿素噴射制御、脱硝プロセスに好適
- ・準拠規格例：ISO 17179

■ 主な仕様

測定方式	波長可変半導体レーザー分光法（TDLS）
測定レンジ	レンジA：0-100ppm／レンジB：0-10,000ppm（0-20%まで応相談）
精度	±2% FSD
分解能	0.001ppm（精度0.01ppm・平均化時間5秒未満時）
応答時間	T90 3秒（ガス流量3L/min時）
干渉影響	4%未満（H ₂ O 15vol%時）
寸法・質量	19インチ×133.3mm×550mm、約12kg

※ 本資料は銘田株式会社で作成した日本語参考資料です。記載の仕様は代表値であり、予告なく変更される場合があります。正式な仕様はメーカー発行の資料または当社までご確認ください。